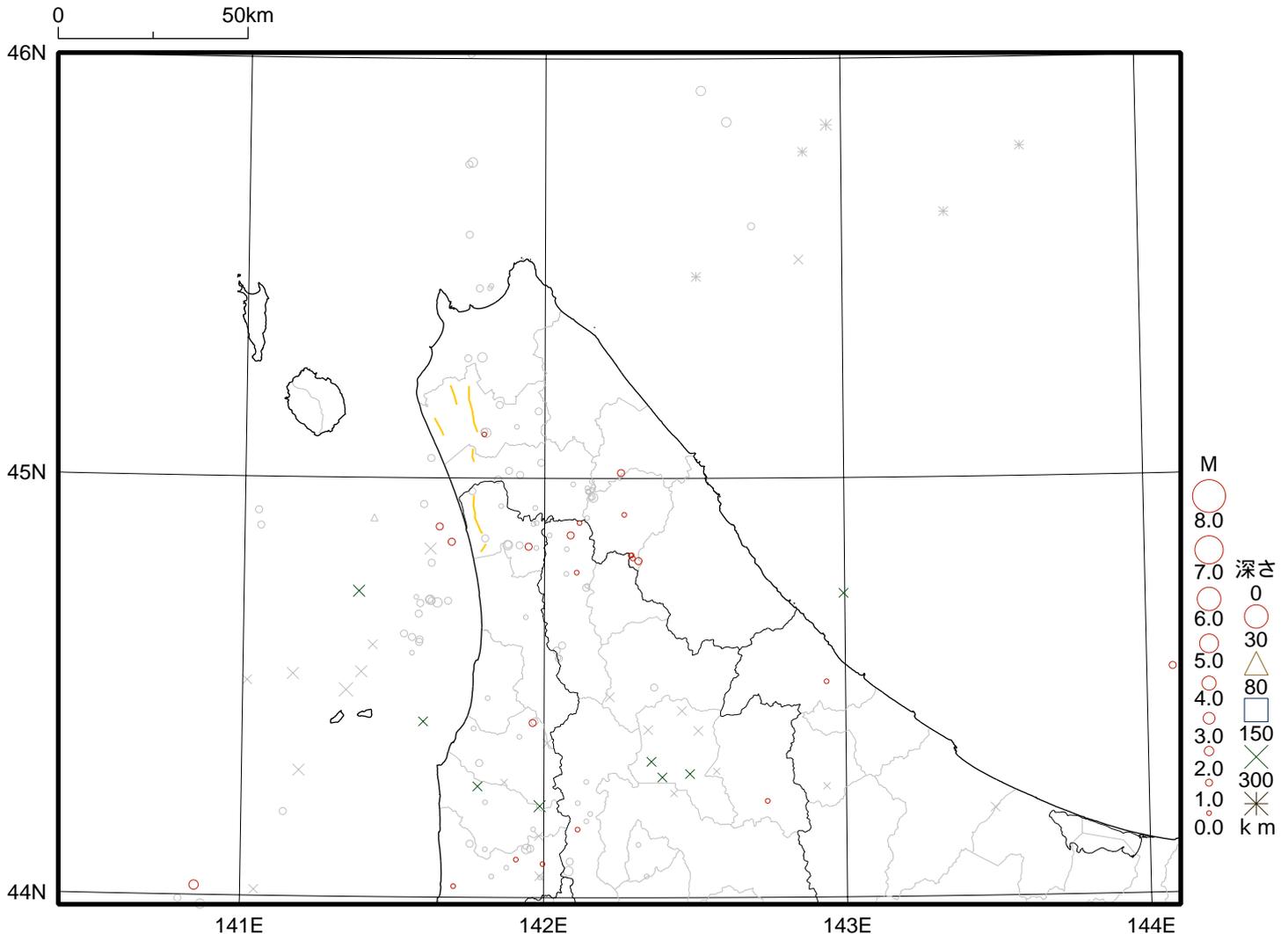


# 宗谷地方の地震活動図

2020年5月1日～2020年5月31日

震央分布図

稚内地方気象台



※ これは暫定値であり、データは後日変更することがあります。  
記号Mはマグニチュードを表します。  
図中橙色の線は地震調査研究推進本部による主要活断層を表します。  
過去の地震活動と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。  
2020年4月18日から、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、それ以前と比較して微小な地震の震源決定数の変化が見られることがあります。

## 地震概況（2020年5月）

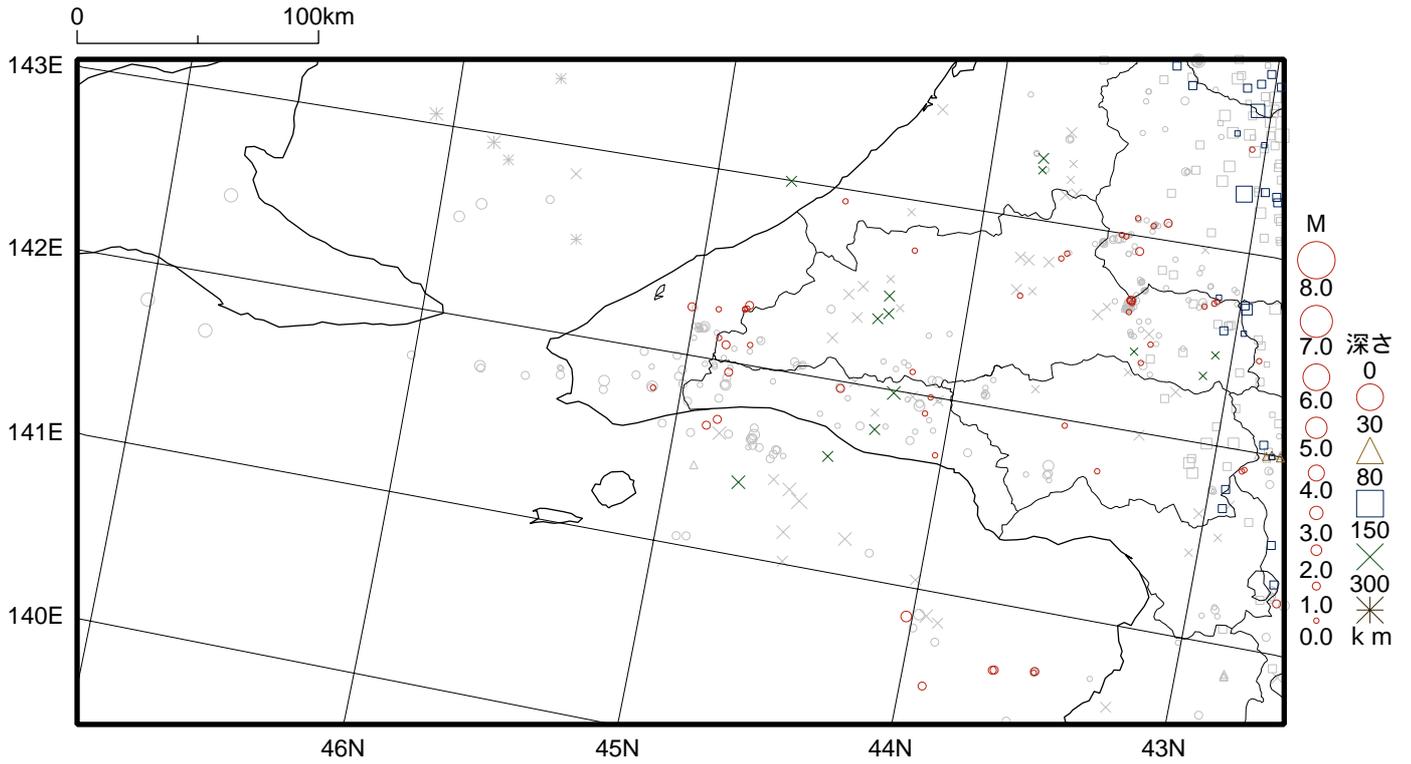
この期間、宗谷地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は1回（4月は2回）でした（「震度1以上を観測した地震の表」参照。）

31日03時13分、十勝沖の地震（M5.6、深さ94km、震央分布図の範囲外）により、猿払村で震度2を観測しました。

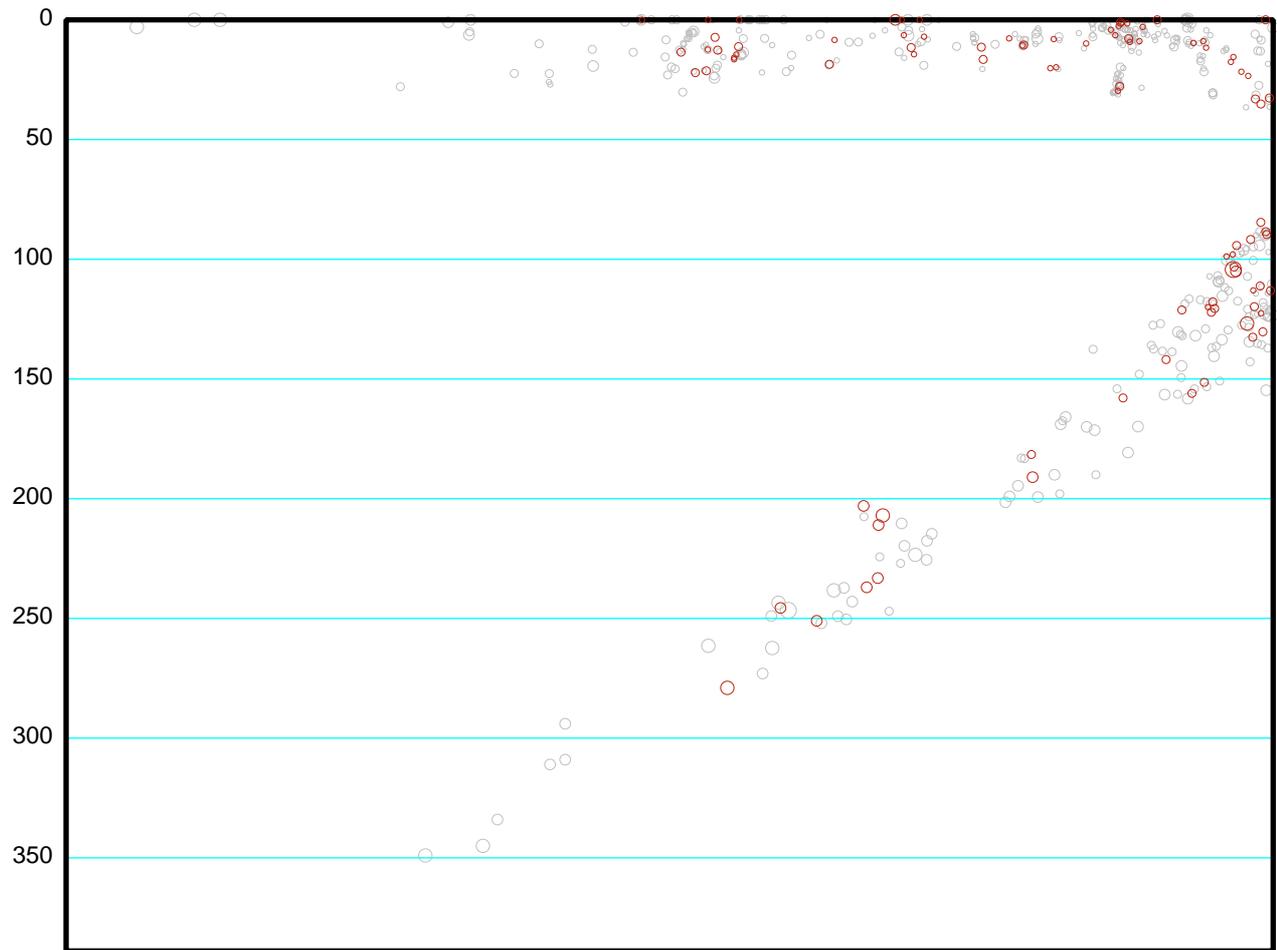
この活動図は、稚内地方気象台のホームページに掲載しておりますのでご利用ください。  
ホームページのアドレスは、「<https://www.jma-net.go.jp/wakkanai/>」です。

2020年5月1日 ~ 2020年5月31日

震央分布図



断面図



km

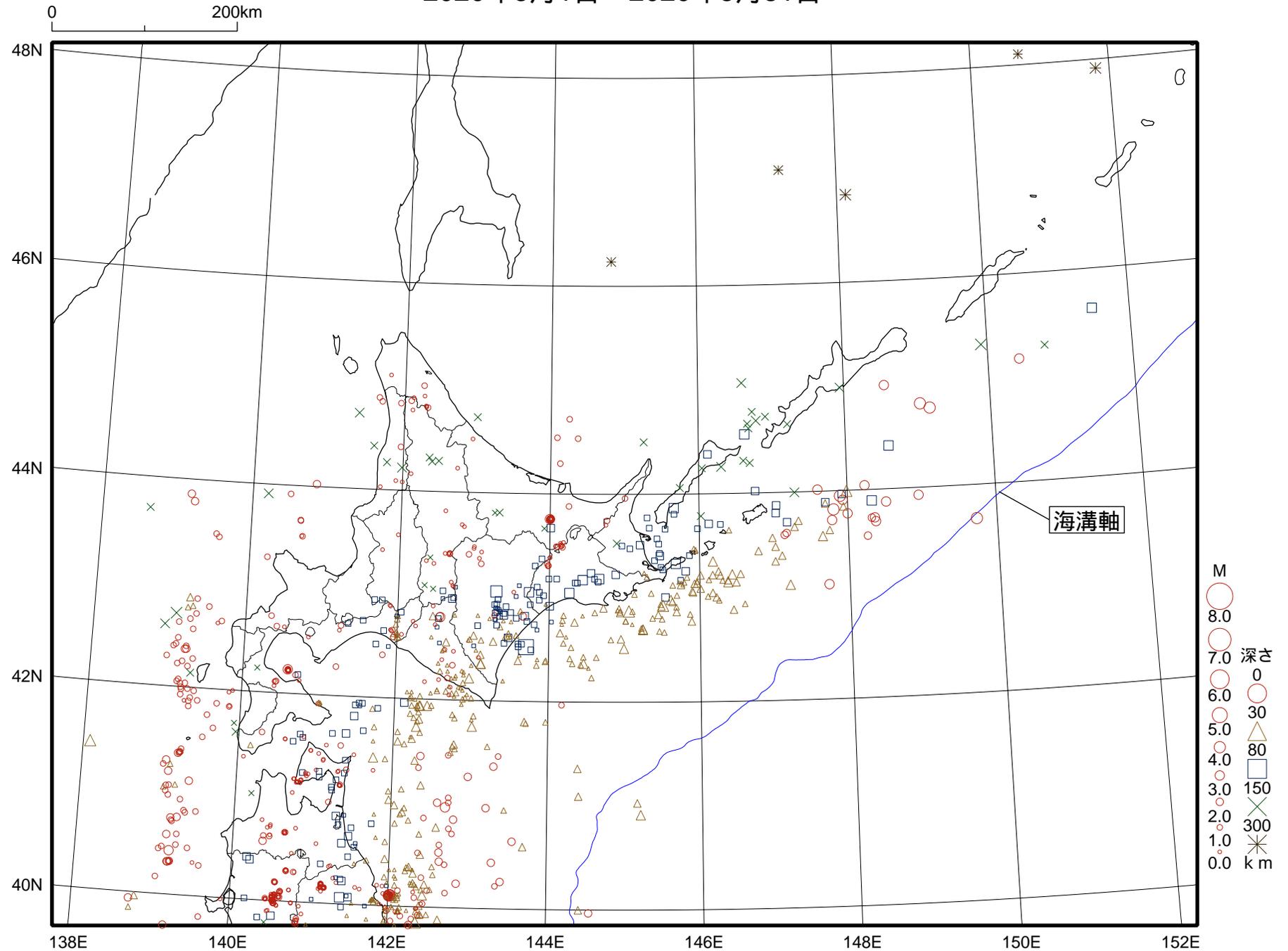
※ これは暫定値であり、データは後日変更することがあります。  
 記号Mはマグニチュードを表します。  
 過去の地震活動と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。  
 2020年4月18日から、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、それ以前と比較して微小な地震の震源決定数の変化が見られることがあります。

# 北海道の地震活動図

2020年5月1日～2020年5月31日

札幌管区気象台

震央分布図



※ 2020年4月18日から、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、それ以前と比較して微小な地震の震源決定数の変化が見られることがあります。

## 震度 1 以上を観測した地震の表 (2020年5月)

年 月 日 地方	時 分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯 (N)	東経 (E)	深さ (km)	規模 (M)
2020年 5月31日 宗谷地方	03時13分 震度 2	十勝沖 猿払村浅茅野* (15)	42° 31.3 N	143° 42.1 E	94 km	M5.6

各地の震度は、宗谷地方のみを掲載しています。

\* のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

地震概況ではセントロイドの深さで表現した地震が含まれている場合があります。

震源の緯度、経度、深さ、規模は暫定値であり、データは後日変更することがあります。

( )内の数値は0.1単位の詳細な震度(計測震度)の小数点を省略して表しています。

計測震度と震度階級の対応は下表のとおりになっています。

### 計測震度と震度階級の関係

計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

# 2020年 5月31日03時13分 十勝沖の地震の震度分布図

